

Letter from survivor [redacted] to Shimano

犠牲者 [redacted] より島野への手紙

親愛なる老師

私にとって非常に大切なことなので、この事を貴方に説明しなければなりません。私の人生のうち過去10年間、私は精神治療に熱心でした。私の経験では、これは魂の成長を促進するものでした。現在の西洋人が自己の内在心理を探求することは、聡明な事であり、必要な事でもあると思います。これは、私達が黙想に入る為にも有益です。私達アメリカ人にとってこれは必要な事なのです。そのため、私は過去10年、正直で誠実であること、人間関係において偏見なくすべて公開する事に徹して生きてまいりました。この自由な精神でもって愛する人々と交わる事によって、より高い知性、感受性が生まれ、お互いの心に深くエネルギーとなって、理想的な人間関係に達する事ができたと思っています。これこそ私が選んだ、私自身の生き方なのです。ですから、貴方が私達の関係を、私の愛する人々から秘密にしておくようにとおっしゃった時、私がどれほど苦しんだかお分かりでしょう。私達の関係の悩みを貴方に打ち明けた時、貴方は嘘をつけばいいとおっしゃった、私は本当に吃驚しました。この秘密を打ち明けては“貴方を困った立場へ追いやる”事になる、私の心の中に隠しておくべきかという困った立場になり、やがて心身病気になってしまいました。そして、もはや、このことを隠して [redacted] を欺き続ける事が出来ないことになりました。約1ヶ月前私は彼に打ち明けました。私はほっとしたものの、解決にはならず、私の心は虚偽に関する一切の問題で、未だ転倒状態です。なぜならば、貴方は過去において他の女性と同じような関係を持った事があり、この事実が発覚した事はさらに大きな問題を生む結果になりました。人々は貴方の真実性、誠意、目的に疑問を抱いています。私は、貴方のトラブルの原因になるつもりはありません。貴方のことを心配しています。しかし、関係を持続させる為に、私に虚偽を強要した部分には困惑しています。私は後で、又手紙を書くかもしれません。

[redacted]